

令和6年度 全国学力・学習状況調査結果について

I. 学力状況調査について

<国語>

- ・全国・兵庫県の平均とほぼ同程度の正答率でした。
- ・自分の考えと、その考えに至った理由（根拠）を述べたり、相手に伝わりやすい伝え方を工夫したりすることができています。
- ・目的や意図に応じて図などに分類したり、関連づけたりして、伝えたいことを明確にしながら書くことに課題が見られます。
- ・描写をもとに登場人物相互の関係や心情を捉えたり、表現の効果を考えたりすることに課題が見られます。

○授業の中で、自分の考えとその根拠を述べる機会を大切にし、同時に他者の考え・意見・理由を聞いて、自分の考えを広げたり、深めたりしてきた学習の積み重ねの成果が見られます。

○「読むこと」の学習について、「何が書かれているか」という内容面のみならず、「どのように描かれているか」などの表現の工夫について着目したり、叙述をもとに考えたことを交流させる場面を設定したりして、より深い読みができるようにします。

○日常の読書活動も意識的に設定し、本に触れる機会を増やします。

○「書くこと」について、目的や意図に応じて「伝えたいこと」を明確に伝えられる文章にするために、「事実」と「考え・意見」を適切に区別して書くなど、書き表し方を工夫したり、条件に合わせて書いたりする機会を増やし、書く力の向上に努めます。

<算数>

- ・全国・兵庫県の平均に比べ、やや低い正答率でした。
- ・基本的な計算力は習得できていますが、応用力が求められる計算問題について課題が見られます。
- ・図形について、基礎的・基本的な知識は習得できていますが、深い理解を伴う知識の習得やその活用に課題が見られます。
- ・収集したデータを整理した表やグラフから必要な数値を読み取ることや、読み取ったデータを使って条件に当てはまるように言葉で表現（説明）することに課題が見られます。

○日常生活の場面に関連づけながら、活用できる知識・技能を習得する学習を進めます。

○場面や目的に応じて比べ方を考察したり、データを適切に活用したりして、日常生活の中で生かせるような学習を進めます。

○式と答えだけの計算ではなく、なぜそう考えたのかを図や式、表、グラフなどを用いて順序立てて説明したり、条件に合うように目的や意図に応じて言葉と数を使って表現したりする力の育成に努めます。

今後も継続して「協同的探究学習」の理念に基づく授業改善に取り組むとともに、自分の考えとその根拠をまとめたり、目的や意図に応じて相手にわかりやすく伝えるために書き表し方を工夫したりする活動を多く取り入れるなど、課題となっている「書くこと」へのアプローチを継続していきます。また、必要に応じて学習支援コンテンツを併用し、ICT 端末をより効果的に活用していきます。

無回答率の高かった問題については、記述等「思考力・判断力・表現力」が求められる問いが多かったことから、前述のような対策とともに学習内容を日常生活の場面と関連づけたりしながら、主体的・能動的に学ぶ場を設定します。

Ⅱ. 学習状況調査について

<生活・学習状況調査 ～児童質問紙から～>

本校では、「豊かな心を持ち、自ら学び、ともに生きる子の育成」を学校教育目標に掲げ、その実現のために「知」「徳」「体」「地域」を四本柱として教育活動に取り組んでいます。

(児童の割合については、「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と肯定的に回答した割合です。)

- 「朝食を毎日食べている」「毎日同じぐらいの時刻に就寝・起床している」では、肯定的な回答が多く、ほとんどの児童が規則正しい生活をしていることを示す結果となりました。
- 「人が困っているときは進んで助ける」「友達関係に満足している」「人の役に立つ人間になりたい」「地域や社会をよくするために何かしてみたい」という項目でも肯定的な回答が多かったです。学校での人間関係の友好さや、家庭や地域等で多くの方々に支えていただきながら、前向きに素直にがんばる児童の姿が窺えます。
- 家庭で1時間程度の学習をしている児童の割合が、平日で70.6%、休日で82.4%です。これは、塾や家庭教師、インターネットを使っでの学習時間も含まれているため、多いほうではありません。1時間以上の家庭学習の習慣がつくようにしていくことが必要です。
- 平日にゲーム(PC、スマホゲームを含む)を2時間以上している児童が41.2%(全国平均46.8%)います。また、SNSや動画を2時間以上視聴する児童は、23.6%(全国平均33.8%)ですが、うち11.8%が4時間以上の視聴をしていると回答しています。これは先ほどのゲームの時間を含んでいません。
一方、1時間以上「勉強のためにPC・タブレットを使用している」と回答した児童は23.6%(全国平均15.5%)であり、家庭学習において、より積極的にICT端末を使用できる環境を整える必要があると感じます。家庭学習に端末が活用できるよう課題の出し方等、工夫を進めていきます。
- 家庭において、携帯・スマホ・PCの使い方について、約束事を「守っている・概ね守っている」と肯定的に回答した児童は70.6%います。引き続きご家庭でも使い方のルールについて見守っていただきますようお願いいたします。
- 学校でのICT端末の活用について、「自分のペースで理解しながら学習を進めることができる」「わからないことがあったときにすぐに調べることができる」「楽しみながら学習を進めることができる」「画像や動画、音声等を活用して学習内容がよくわかる」とほとんどの児童が肯定的な回答をしています。授業の中で、学習の成果が上がるよう、より効果的な使い方を進めていきます。
- 授業について、「国語の授業が好き」と回答した児童は52.9%、「算数の授業が好き」と回答した児童は58.8%でした。しかし、両教科とも「大切だと思う」「将来、社会に出たときに役に立つと思う」と回答した児童は100%でした。児童にとって苦手な単元もありますが、友達と考えを共有したり比べたりしながら、「話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができる」と肯定的な姿勢で学習に臨んでいます。今後もよりよい授業づくりに努めてまいります。

子どもたちの学力向上には、健康・体調管理、家庭における基本的な生活習慣や学習習慣の確立など、学校だけでは力の及ばないことがあります。今後も子どもたちの学力向上と健全育成に向けて、学校と家庭・地域が連携を図りながら進めてまいりたいと思います。

引き続き、ご理解とご協力をたまわりますよう、よろしくお願いいたします。